

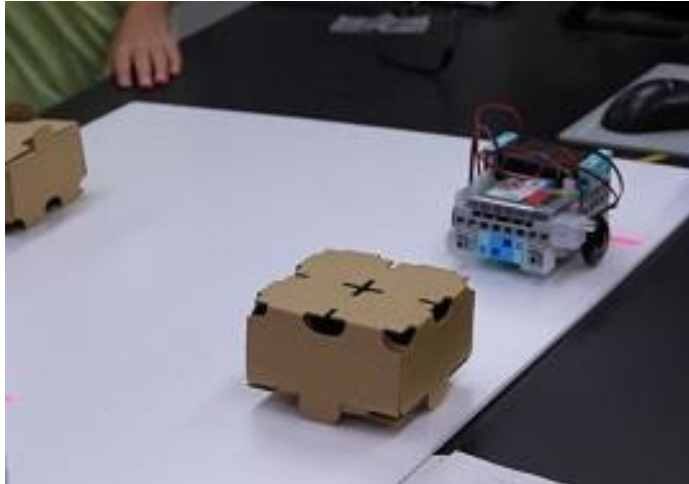
IV 事業概要

3 社会教育事業

【1 生涯学習に関すること】

(1) 大人の科学教室

中学生以上を対象とした科学講座を10月～3月にわたり月に1度、主に日曜日に開催した。講師は科学館職員が担当し、専門分野を中心に独自の工夫を加えて行った。実験・観察を中心とし、分かりやすく親しみやすい内容とした。



第一回 10月28日(日) 10:00-12:00
「プログラミング教室」

講師 日下 孝 社会教育指導員
参加者 8名

「スクラッチ」というプログラム言語の基礎知識を説明。その後、ロボットを走らせたりライトを光らせたりするプログラムを組み立てた。最終的には、障害物を避けてスタートからゴールまで走らせるプログラミングを完成させた。



第二回 11月18日(日) 10:00-12:00
「研磨」

講師 板橋 誠二 社会教育指導員
参加者 19名

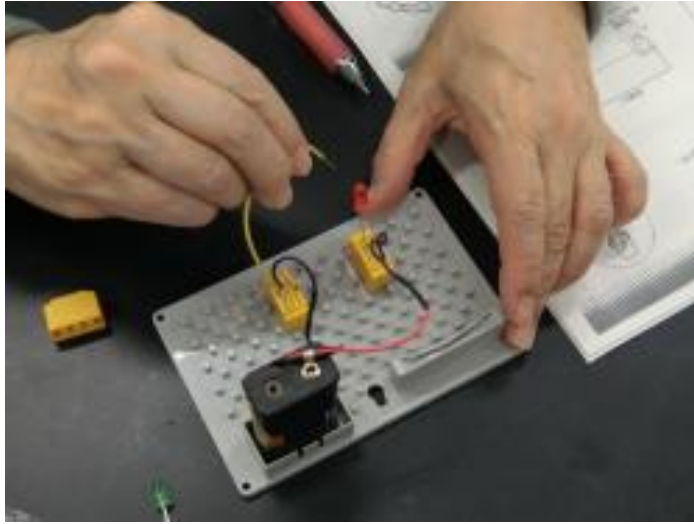
鉱物の硬度について説明。食塩やガラスなど様々な固体の硬さを比べた。実際にやすりを使って蛍石(フローライト)を研磨した。



第三回 12月16日(日) 10:00-12:00
「仕掛けカードづくり」

講師 梶原 克夫 社会教育指導員
参加者 18名

工作用具の紹介を行い、紙の厚さと用途について解説した後、作り方を説明。上下に動く仕組みや回転する仕組みなど、基本的な仕掛けについて11パターンの工作を行い、色を塗って完成させた。



第四回 1月27日(日) 10:00-12:00
「電子ブロックを使った電子工作」
講師 佐藤 忠義 専門員
参加者 15名

電流が流れる仕組みや電子回路についての基礎的な内容を説明。その後、回路図を読み取りながら、各部品ブロックをつないでいき、音を出したり、LEDを光らせたりできる回路を完成させた。



第五回 2月24日(日) 10:00-12:00
「野鳥観察を楽しもう」
講師 石川 歩 社会教育指導員
参加者 10名

実験室でバードコール作りを行った後、野鳥観察のポイントや鳴き声の覚え方を説明。その後、台原森林公園へ移動し、双眼鏡で実際に野鳥を観察した。コゲラがドラミングする様子やエナガ、ヒヨドリなどの野鳥を観察することができた。



第六回 3月17日(日) 10:00-12:00
「科学雑貨をつくろう」
講師 吉田 香苗 社会教育指導員
参加者 19名

溶液の中から溶けているものが再び結晶となって現れる原理を説明。その後、2種類の溶液をつくり、ストームグラスに入れて混ぜ合わせて完成させた。最後に、ストームグラスの歴史や楽しみ方を解説した。